

福 井 県 医 師 会

だより

第726号 令和3年(2021)12月



九頭龍峡谷

福井市 竹越 忠美

表紙写真説明：九頭龍峡谷

福井市 竹越 忠美

九頭龍峡は九頭竜川の浸食によってできた峡谷で、春の新緑や秋の紅葉は有名で、特に九頭竜川を遮るように幾重にも広がる景観は人々の心を魅了する。国道158号線が並行して走っており、一瞬の水面に投影された山々を描いてみた。

醫 縫 録

鯖江市医師会長就任にあたって

鯖江市医師会長 木 水 潔



令和3年5月29日に開催された鯖江市医師会総会におきまして、第28代鯖江市医師会長を拝命いたしました。浅学菲才の身でありながら責任のある立場となりましたが、副会長や理事及び役員の方々に会員の皆様のご協力を頂きながら医師会運営にあたりたいと思っております。

今立郡医学史（昭和42年発行）によれば、明治20年4月今立郡医師組合として発足し、その後いくつかの名称変更の変遷があり昭和47年に鯖江市医師会となっております。現在会員の所属する医療機関及び施設数は48、会員数100名で構成されております。

令和元年12月中国湖北省武漢市から始まったとされるCOVID-19は瞬く間に世界中に拡散し、現在（8月29日）日本は第5波の中にあります。私の出自は、放射線科医で感染症に関する知識に乏しく感染防護服（PPE）も全く経験がない状態でした。そんな中、検体採取や宿泊療養施設への出務は大変に怖い思いでした。しかし、県医師会による迅速な対応策への説明会開催があり大変助かりました。まさに、災害時の医師会の在り方はこの様にあるべきだと思いました。鯖江市医師会では、広瀬前会長の初動体制対応策からワクチン接種までの対策、システムをきっちりと作っていただき感謝に堪えません。有難うございました。現在は、個別及び集団接種に追われる日々ですが、地域住民の安心安全を確保するためにスムーズで無駄のないワクチン接種が続くように一つ一つの問題点に対し担当行政の方々と共に対応にあたり鯖江市医師会員の皆様方に情報発信していく事が重要な仕事と考えております。さらに医師会活動としては、年2回の総会、特定健診、各種癌検診、乳幼児健診、予防接種、園医、学校医、休日当番

医、健康講座、市民公開講座、救急医療勉強会、救急救命士病院研修事業、防災訓練会議、介護認定審査会等があります。コロナ禍により活動として困難な部分もあり、状況を見ながらの活動になると思われれます。

今後の人口動態問題について2025年に向かって高齢者人口が上昇し2040年からは減少するとされております。現在協議が立ち切れとなっております「地域医療構想調整会議」は再開されるのでしょうか。いずれにしろかかりつけ医と在宅医療、かかりつけ医と病院の役割分担、連携の推進そして新興感染症拡大時の医療対策等について地域の実状に合った医療体制を話し合っていくべきと思います。

東京2020オリンピックが閉会しました。開催前には一部で強行開催とまで叫ばれておりましたが、私自身も甚だ心配の中での開催でした。しかし選手の多くの方々からは「ありがとう東京、ありがとう日本」との言葉での閉会でした。国家を代表して競う選手たちの姿を見て国への思いや強い一体感を目の当たりにして私も開催して良かったんだと思っております。一方で、新型コロナウイルス新規感染者数も連日の記録更新を続けております。この二つの事項が今後に予定されている自民党総裁選や衆議院選にどのように影響するのでしょうか。今はただ国家のために全力をもって競技した日本選手たちの前で政治を語るのは甚だ無粋であるとしか言いようがないでしょう。